
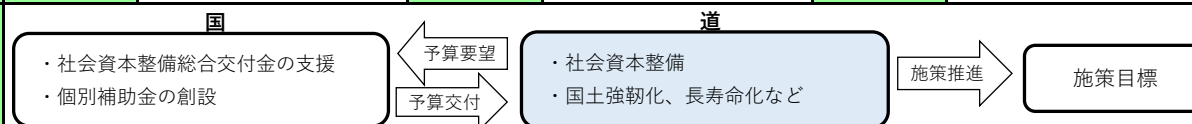


<b>令和3年度 基本評価調書①</b>		所管部等	建設部	所管課	維持管理防災課、道路課、河川砂防課	
施策名	大規模自然災害対策の推進（長寿命化）			施策コード	08023	
政策体系（中項目）	持続可能な社会・経済を支える社会資本の整備			政策体系コード	3(7)A	
知事公約	C0085 C0151 C0152	総合戦略	A2411 A2412 A2421	国土強靱化	B1221 B1222 B1321 B1322 B1411 B1422 B1423 B1424 B1431 B1511 B1512 B1521 B1522 B1712 B1732 B4431 B4432 B7211 B7221	事務事業数 30
SDGs				総合判定	概ね順調	

**【1 Plan】**

施策目標	「北海道橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、橋梁の修繕・更新を実施し、安全で円滑な道路交通の確保に努めるほか、河川管理施設等の必要な治水機能を確保するため、施設ごとの長寿命化計画に基づき補修・更新を行う。					
現状と課題	人口減少と高齢化の進行により社会資本への投資余力が減少するとともに、高度経済成長期に整備された公共土木施設の老朽化が進行していることから、長寿命化計画を策定する必要がある。					
主な取組	公物管理パトロール業務・維持管理業務、地吹雪等危険箇所における防雪対策の推進、緊急輸送道路路上等における橋梁の耐震補強の推進、北海道橋梁長寿命化修繕計画に基づく修繕等の対策の推進、大型構造物等長寿命化修繕計画に基づく修繕等の対策の推進、洪水や土砂災害・高潮・津波などの自然災害から地域を守る河川や海岸整備等の推進、国費予算の提案・要望 ほか					
予算額（千円）	R 3	129,189,926	R 2	150,736,743	R 1	152,886,843
施策のイメージ						

**＜成果指標の達成状況＞ ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載**

指標名①	増加	%	H30年度	R元年度	R 2年度	最終目標(R4)	達成率	指標判定
橋梁の予防保全率（道道）	目標値		65	76	88	100	97.7%	B
	実績値		67.3	82.0	86.0	-		
設定理由	橋梁の老朽化対策について、計画的な点検・診断を行い適切な維持管理・更新等を実施							
分析（主な取組と成果）								
個別補助制度により、北海道橋梁長寿命化修繕計画等に基づく橋梁補修等を実施（雄信内大橋（豊富遠別線（幌延町）など））。								

指標名②	増加	基	R元年度	R 2年度	R 3年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
管理用小水力発電を導入した道管理ダム	目標値		6	6	6	7	100%	A
	実績値		6	6	6	-		
設定理由	新・北海道ビジョン推進方針「エネルギー自給・地域循環システムの構築」に基づく、道管理ダムにおける導入数を指標として設定。							
分析（主な取組と成果）								
R 2における管理用小水力発電を導入した道管理ダムの基数は6基であり、最終目標値（7基）に向け、計画どおり進められている。								

指標名③			R元年度	R 2年度	R 3年度	最終目標	達成率	指標判定
	目標値							
	実績値							
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

令和3年度 基本評価調書②	施策名	大規模自然災害対策の推進 (長寿命化)	施策 コード	08023
---------------	-----	------------------------	-----------	-------

【2 Do&Check】

成果指標	指標名	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	指標判定
成果指標	橋梁の予防保全率(道道)	67.3	82.0	86.0	88.0	B
	管理用小水力発電を導入した道管理ダム	6	6	6	6	A
目標 (指標)の 達成状況	社会資本整備総合交付金等の交付金や補助制度により、概ね順調に橋梁の修繕・更新が図られている。 R3における管理用小水力発電を導入した道管理ダムの基数は6基であり、最終目標値(7基)に向け、計画どおり進められている。				指標総合 判定	A
連携 状況	「社会資本整備推進会議」「インフラ長寿命化推進会議」等に参画し、各部と進捗状況や情報の共有を図る。				連携判定	○
緊急性 優先性	防災・減災、国土強靱化の推進、交付金制度の創設や財政支援の充実・強化、各種整備予算の確保などについて、国に対し要望を実施予定。 維持管理業務について、アンケート調査の結果等を毎年度作成している「維持管理の実施計画」の参考としている。				緊急性 優先性 判定	○
総合判定 の根拠	長寿命化計画に基づく公共施設のライフサイクルコストの縮減など、社会情勢や道民のニーズを踏まえた取組を着実に推進している。 社会資本整備総合交付金等の交付金や補助制度の活用により、効果的に施策を進め、橋梁の修繕・更新の実施の取組を推進している。				総合判定 (一次評価)	概ね順調

翌年度に 向けた 対応方針	対応方針番号	内容
	①	社会資本整備総合交付金等の交付金や補助制度の活用により、引き続き橋梁の修繕・更新を推進する。また、効果的に施策を進めるため、必要な予算の確保などの取組を推進する。
②		
③		

〈二次政策評価〉

前年度 二次評価 意見	対応状況 (R3.3時点)	
R3年度 二次政策 評価		

【3 Action】

二次政策 評価への 対応	
R4 施策の 方向性	橋梁の修繕・更新について、早期着手に取り組むとともに、必要な予算の確保を国に要望するなど、道路交通ネットワークの形成を推進する。